

カルタヘナ法（遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（平成15年法律第97号）に基づき、生物多様性影響が生ずるおそれがないものとして環境大臣及び農林水産大臣が第一種使用規程を承認した遺伝子組換え農作物は以下のとおりです。

カルタヘナ法に基づく第一種使用規程が承認された遺伝子組換え農作物一覧（承認順）  
（平成17年11月25日現在）

番号	名称及び申請者	第一種使用等の主な内容					承認日	（参考）他の安全性確認状況	
		隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用		食品安全性（食品衛生法）	飼料安全性（飼料安全法）
1	青紫色カーネーション 123.2.2 ( <i>F3'5'H, DFR, Diathus caryophyllus</i> L.) (OECD UI : FLO-40619-7) 【サントリー-フーズ株式会社】		○			○	2004年 6月1日	不要	不要
2	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ ( <i>cry1Ab, Zea mays</i> L.) (MON810、OECD UI : MON-00810-06) 【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2004年 6月1日	2001年 [MON810]	2003年
3	コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ ( <i>cry3Bb1, Zea mays</i> L.) (MON863、OECD UI:MON-00863-5) 【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2004年 6月1日	2002年 [MON863]	2003年
4	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ ( <i>cry1Ab, cry3Bb1, Zea mays</i> L.) (MON810 × MON863、OECD UI : MON-00810-6 × MON-00863-5) 【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2004年 6月11日	2004年 [MON810 × MON863]	2004年
5	除草剤グリホサート耐性ワタ ( <i>cp4 epsps, Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88913) 【日本モンサント株式会社】	○					2004年 6月11日 (使用期間： 2004.6.11 ~ 2004.12.31)	—	—
6	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ ( <i>cry1F, pat, Zea mays</i> L.) (TC6275、OECD UI : DAS-06275-8) 【タケノコ日本株式会社】	○					2004年 6月11日 (使用期間： 2004.6.11 ~ 2005.3.31)	—	—
7	高トリプトファン含量体 ( <i>OASAIID, Oryza sativa</i> L.) (HW1) 【独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構 作物研究所】	○					2004年 6月11日 (使用期間： 2004.6.11 ~ 2005.7.30)	—	—
8	高トリプトファン含量体 ( <i>OASAIID, Oryza sativa</i> L.) (HW5) 【独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構 作物研究所】	○					2004年 6月11日 (使用期間： 2004.6.11 ~ 2005.7.30)	—	—
9	半矮性体 ( <i>OsGA2ox1, Oryza sativa</i> L.) (G-3-3-22) 【独立行政法人 農業生物資源研究所】	○					2004年 6月11日 (使用期間： 2004.6.11 ~ 2005.3.31)	—	—
10	直立葉半矮性体 ( $\Delta$ <i>OsBR11, Oryza sativa</i> L.) (B-4-1-18) 【独立行政法人 農業生物資源研究所】	○					2004年 6月11日 (使用期間： 2004.6.11 ~ 2005.3.31)	—	—
11	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ ( <i>cp4 epsps, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>Ilitis</i> ) (NK603、OECD UI: MON-00603-6) 【日本モンサント株式会社】		○	○	○		2004年 11月22日	2001年 [NK603]	2003年
12	除草剤グリホサート耐性ワタ ( <i>cp4 epsps, Gossypium hirsutum</i> L.) (1445、OECD UI : MON-01445-2)			○	○		2004年 11月22日	2001年 [1445]	2003年

【日本モンサント株式会社】									
13	除草剤グリホシネート耐性トウモロコシ( <i>pat, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (T25, OECD UI:ACS-ZM003-2) 【ハイレックサイエンス株式会社】		○	○	○		2004年 11月22日	2001年 [T25]	2003年
14	除草剤グリホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ( <i>cp4 epsps, cry1Ab, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis)(NK603 × MON810, OECD UI: MON-00603-6 × MON-00810-6) 【日本モンサント株式会社】			○	○		2004年 11月22日	2003年 [NK603 × MON810]	2002年
15	コブチウ目及びチョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホシネート耐性トウモロコシ( <i>cry3Bb1, cry1Ab, cp4 epsps, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MON863 × MON810 × NK603, OECD UI:MON-00863-5 × MON-00810-6 × MON-00603-6) 【日本モンサント株式会社】			○	○		2004年 11月22日	2004年 [MON863 × MON810 × NK603]	2004年
16	チョウ目害虫抵抗性ワタ ( <i>cry1Ac, Gossypium hirsutum</i> L.) (531, OECD UI: MON-00531-6) 【日本モンサント株式会社】				○		2004年 11月22日	2001年 [531]	2003年
17	青紫色カーネーション 11 ( <i>F3'5'H, DFR, Diathus caryophyllus</i> L.) (OECD UI: FLO-07442-4) 【サントリーフーズ株式会社】		○				2004年 12月10日	不要	不要
18	青紫色カーネーション 11363 ( <i>F3'5'H, DFR, Diathus caryophyllus</i> L.) (OECD UI: FLO-11363-1) 【サントリーフーズ株式会社】		○				2004年 12月10日	不要	不要
19	青紫色カーネーション 123.2.38 ( <i>F3'5'H, DFR, Diathus caryophyllus</i> L.) (OECD UI: FLO-40644-4) 【サントリーフーズ株式会社】		○				2004年 12月10日	不要	不要
20	青紫色カーネーション 123.8.8 ( <i>F3'5'H, DFR, Diathus caryophyllus</i> L.) (OECD UI: FLO-40685-1) 【サントリーフーズ株式会社】		○				2004年 12月10日	不要	不要
21	除草剤グリホシネート耐性クレーピングベントグラス ( <i>cp4 epsps, Agrostis stolonifera</i> L.) (ASR368, OECD UI: SMG-36800-2) 【日本モンサント株式会社】	○					2004年 12月10日 (使用期間: 2004.12.10 ~ 2005.11.30)	—	—
22	コブチウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホシネート耐性トウモロコシ ( <i>cry3Bb1, cp4 epsps, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MON863 × NK603, OECD UI:MON-00863-5 × MON-00603-6) 【日本モンサント株式会社】			○	○		2004年 12月10日	2003年 [MON863 × NK603]	2003年
23	チョウ目害虫抵抗性ワタ ( <i>cry1Ac, cry2Ab, Gossypium hirsutum</i> L.) (15985, OECD UI: MON-15985-7) 【日本モンサント株式会社】				○		2004年 12月10日	2002年 [15985]	2003年
24	除草剤グリホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタ ( <i>cp4 epsps, cry1Ac, Gossypium hirsutum</i> L.) (1445 × 531, OECD UI:MON-01445-2 × MON-00531-6) 【日本モンサント株式会社】				○		2004年 12月10日	2003年 [1445 × 531]	2003年
25	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホシネート耐性トウモロコシ ( <i>cry1F, pat, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (B.t. Cry1F maize line 1507, OECD UI:DAS-01507-1) 【デューポン株式会社】			○	○		2005年 3月2日	2002年	2002年
26	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホシネート耐性ワタ ( <i>cry1Ac, cry2Ab, cp4 epsps, Gossypium hirsutum</i> L.) (15985 × 1445, OECD UI:MON-15985-7 × MON-01445-2) 【日本モンサント株式会社】				○		2005年 3月2日	2003年 [15985 × 1445]	2003年
27	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホシネート耐性及び除草剤グリホシネート耐性トウモロコシ ( <i>cry1F, pat, cp4 epsps, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (1507 × NK603, OECD UI: DAS-01507-1 × MON-00603-6) 【デューポン株式会社】			○	○		2005年 3月25日	2004年	2003年

28	アザミ目害虫抵抗性ワタ ( <i>cryIAc, Gossypium hirsutum</i> L.) (757, OECD UI: MON-00757-7) 【日本モンサント株式会社】					2005年 3月25日	2001年	2003年
29	鉄欠乏耐性イネ ( <i>HvNAS1, Oryza sativa</i> L.) (gHvNAS11-1) 【国立大学法人東北大学】	○				2005年 4月25日 (使用期間: 2005.4.25 ~ 2007.3.31)	—	—
30	鉄欠乏耐性イネ ( <i>HvNAAT-A, HvNAAT-B, Oryza sativa</i> L.) (gHvNAAT1) 【国立大学法人東北大学】	○				2005年 4月25日 (使用期間: 2005.4.25 ~ 2007.3.31)	—	—
31	鉄欠乏耐性イネ ( <i>HvIDS3, Oryza sativa</i> L.) (gHvIDS3-1) 【国立大学法人東北大学】	○				2005年 4月25日 (使用期間: 2005.4.25 ~ 2007.3.31)	—	—
32	鉄欠乏耐性イネ ( <i>HvNAS1, HvNAAT-A, HvNAAT-B, Oryza sativa</i> L.) (gHvNAS1-gHvNAAT1) 【国立大学法人東北大学】	○				2005年 4月25日 (使用期間: 2005.4.25 ~ 2007.3.31)	—	—
33	鉄欠乏耐性イネ ( <i>APRT, Oryza sativa</i> L.) (I3pAPRT1) 【国立大学法人東北大学】	○				2005年 4月25日 (使用期間: 2005.4.25 ~ 2007.3.31)	—	—
34	鉄欠乏耐性イネ ( <i>HvNAS1, HvNAAT-A, APRT, Oryza sativa</i> L.) (I3pNasNaatAprt1) 【国立大学法人東北大学】	○				2005年 4月25日 (使用期間: 2005.4.25 ~ 2007.3.31)	—	—
35	除草剤グリホサート耐性ダイズ( <i>cp4 epsps, Glycine max</i> (L.) Merr.)(40-3-2, OECD UI: MON-04032-6) 【日本モンサント株式会社】		○	○	○	2005年 5月25日	2001	2003
36	スギ花粉症予防効果ペプチド含有イネ ( <i>7Crp, Oryza sativa</i> L.) (7 Crp # 1 0) 【独立行政法人 農業生物資源研究所】	○				2005年 5月25日 (使用期間: 2005.5.25 ~ 2007.12.31)	—	—
37	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ ( <i>DEF, Oryza sativa</i> L.) (AD41) 【独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構】	○				2005年 5月25日 (使用期間: 2005.5.25 ~ 2006.10.31)	—	—
38	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ ( <i>DEF, Oryza sativa</i> L.) (AD48) 【独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構】	○				2005年 5月25日 (使用期間: 2005.5.25 ~ 2006.10.31)	—	—
39	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ ( <i>DEF, Oryza sativa</i> L.) (AD51) 【独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構】	○				2005年 5月25日 (使用期間: 2005.5.25 ~ 2006.10.31)	—	—
40	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ ( <i>DEF, Oryza sativa</i> L.) (AD77) 【独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構】	○				2005年 5月25日 (使用期間: 2005.5.25 ~ 2006.10.31)	—	—
41	いもち病及び白葉枯病抵抗性イネ ( <i>DEF, Oryza sativa</i> L.) (AD97) 【独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構】	○				2005年 5月25日 (使用期間: 2005.5.25 ~ 2006.10.31)	—	—

機構】						2005.5.25 ~ 2006..10.31)		
42	除草剤グリホサート耐性テンサイ ( <i>cp4 epsps</i> , <i>Beta vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i> var. <i>altissima</i> ) (H7-1,OECD UI:KM-000H71-4) 【日本モンサント株式会社】	○				2005年 5月25日 (使用期間: 2005.5.25 ~ 2005..12.31)	2003	—
43	半矮性イネ ( <i>OsGA2ox1</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (G-3-3-22) 【独立行政法人 農業生物資源研究所】	○				2005年 5月25日 農業生物資源研究所ほ 場に限定	—	—
44	直立葉半矮性イネ ( <i>ΔOsBRI1</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (B-4-1-18) 【独立行政法人 農業生物資源研究所】	○				2005年 5月25日 農業生物資源研究所ほ 場に限定	—	—
45	コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ( <i>mevry3Aa2</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(MIR604, OECD UI: SYN-IR604-5) 【シジエンタ ジャパン株式会社】	○				2005年 5月25日 (使用期間: 2005.5.25 ~ 2006..3.31)	—	—
46	耐熱性 $\alpha$ アミラーゼ産生トウモロコシ( <i>amy797E</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis)(3272, OECD UI: SYN-E3272-5) 【シジエンタ ジャパン株式会社】	○				2005年 5月25日 (使用期間: 2005.5.25 ~ 2006..3.31)	—	—
47	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ ( <i>mEPSPS</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis) (GA21, OECD UI:MON-00021-9) 【日本モンサント株式会社】	○	○	○		2005年 11月25 日	2001	2003
48	除草剤グリホサート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ ( <i>pat,cry1Ab,Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.)Ittis) (T25×MON810,OECD UI:ACS-ZM003-2× MON-00810-6) 【アールダ株式会社】	○	○	○		2005年 11月25 日	2004	2001
49	除草剤グリホサート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ ( <i>mEPSPS,cry1Ab,Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.)Ittis) (GA21×MON810, OECD UI: MON-00021-9× MON-00810-6) 【日本モンサント株式会社】	○	○	○		2005年 11月25 日	2003	2001
計		24	19	20	20	5		

注1：名称の()内の「OECD UI」とは、OECD Unique Identifier のことであり、遺伝子組換え植物の安全性審査の単位として OECD に登録されている識別記号のことです。

注2：名称の()内の「OECD UI」の前に記述している英数字は、開発者による識別番号です。

注3：第一種使用等の内容の「食用」、「飼料用」とは、食用又は飼料用のための「輸入及び流通」について認められたものです。

注4：「(参考)他の安全性確認状況」の欄の「○○○○年」は、食品衛生法に基づく食品としての安全性審査の手続きを経た年、ないし、飼料安全法(飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律)に基づく飼料としての安全性の確認がなされた年を示すものです。「—」は未確認を、「不要」は対象外を示すものです。また、食品安全性(食品衛生法)の欄の○○○○年の下の[]内は、食品衛生法の審査手続きの際の名称です(一部省略している場合があります)。

注5：「計」の欄は、各項目に該当する承認案件の合計件数を示すものです。

参考：承認された遺伝子組換え農作物に係る第一種使用規程承認申請書、生物多様性影響評価書の概要、学識経験者の意見等については、バイオセーフティクリアリングハウス(J-BCH)のLMO関連情報([http://www.bch.biodic.go.jp/bch\\_3.html](http://www.bch.biodic.go.jp/bch_3.html))から検索できます。